

令和8年文月号

大洞院便り

令和8年7月1日 発行

お盆は、釜蓋朔日(かまぶたついたち)に始まり地藏盆で終わります。7日の七夕(たなばた)までにお墓の掃除をする、盆棚や仏壇の盆飾りをするなど、先祖・故人の精霊を迎える準備が続きます。

今年の大洞院は、8月2日の新盆法要と施食会に始まり、盆棚経、15日の盂蘭盆法要、23～24日の地藏盆と盆行事が続きます。先祖・故人・縁者をはじめ広く戦没者、天災地変の被害者を含めた諸精霊の供養を行いましょう。

新盆法要

令和8年8月2日(日) 午前11～12時
会場：本堂 受付：寺務所

新盆とは、故人が最初に迎える盆です

故人が最初に迎える盆を「新盆(しんぼん・にいぼん・あらぼん)」と呼びます。本堂に設ける施食棚にこの1年間に亡くなった故人の白木位牌を祀り、浄水・供物を供えて盆幡を建て特別に手厚く供養します。

本年の新盆法要は、令和7年6月23日～令和8年6月20日の間に逝去された方々の親類縁者にお集まりいただき、近隣寺院僧侶の協力を得て故人を特に丁寧・手厚く供養します。

参加人数分の席を用意します。申し込んだ塔婆は、法要終了後に本堂内で渡します。

新盆法要の対象となる皆様には、ご案内を別送しました。未着の場合は連絡ください。家族・親族揃って参加いただけます。



令和7年 新盆法要

新盆の相談を受け付けます

初めてのお盆で、戸惑うことも多いと思います。地方によって風習が異なるために、親族間でも意見が合わず迷うことがあります。新盆法要について、分からないことや困ったことを寺務所で相談に応じています。

お友達が家族の新盆をどうすればいいかわからないみたい。私もわからないから困ったわ…



お葬式は葬儀社にお願いしたけど、新盆の相談は誰にするか困ってるの…

施食(施餓鬼)会

令和8年8月2日(日) 午後1～2時
会場：本堂 受付：寺務所

施食法要は、先祖・故人・縁者・広く無縁の諸精霊の供養をして、さらに参列する皆様の福德延寿を願う法要です。

午後1時に開式します。次世代を担う家族とともに参加をお願いします。本堂前にも焼香台を準備します。自由に参拝・焼香いただけます。法要終了後(午後2時頃)に、本堂前で申し込んだ塔婆をお渡しします。各自の墓所に建立して、墓参りをしてください。

受付は寺務所です。盆幡をお渡しします。帰宅後に仏壇などへの飾り付けをお願いします。



本堂内の施食棚



令和7年 施食会

施食会塔婆等申込 web 受付開始



web 申込フォーム

素早く申し込みが可能なwebサイトからの施食会の出欠・塔婆・仏花申込受付を行っています。

これまで通り、大洞院便りと同封するう施食会申込ハガキでも受け付けます。

本年のみ、日曜日開催です。

8月15日（土） 盂蘭盆法要

先祖・故人、水子や縁者の供養のための盂蘭盆法要を開催します。8月15日は8月盆の中日、終戦の日でもあり、戦没者の慰霊、大震災など災害死者の慰霊も行います。

檀家以外の地域の方も参加ください。盆棚経を受けられなかった方、墓参りの方にも参加いただけます。

参道に千本灯明を点灯して、法要終了（午後6時30分頃）後から、詩吟と津軽三味線の演奏などの奉納があります。夕涼みがてら、皆様もお聞きください。



盆の墓参り参道



盂蘭盆法要

令和8年8月15日（土） 午後6時～
会場：本堂 受付：寺務所

盂蘭盆に故人の供養をしましょう

大洞院の盂蘭盆法要は、檀家に限らずどなたでも参加いただけます。

先祖、遠方の親類縁者などの供養がしたい方、水子の供養がしたい方、故郷にお盆の墓参りができない方、恩師・友人の霊に手を合わせたい方など、宗旨を問わず供養の申込ができます。

供養したい故人の氏名（分かれば戒名）、供養する方の氏名を記入して供養料（千円）を添えて寺務所に申込むと、盂蘭盆法要の式中で故人の氏名・戒名を奉読して供養します。奉読申込は、法要前17時30分まで受付ます。



納涼演奏奉納
津軽三味線と篠笛・詩吟

津軽三味線五錦流師範
ごしき ゆうご
五錦 雄互

篠笛・フルート
みやかわ えつこ
宮川悦子

日本吟道学院 韻の会
とくたけりゆうくう
徳武龍空

8月15日（土）午後6時30分～（盂蘭盆法要後）
会場：本堂前 参加無料

盂蘭盆法要終了（午後6時30分頃）後は、参道に千本灯明を点灯して、津軽三味線と篠笛、詩吟の奉納で、先祖・故人の供養をさせていただきます。皆様も一緒に聞きください。



演奏奉納



演奏奉納



千本灯明



お盆の供養の申込書 <キリトリ線> ➤

フリガナ	
故人・先祖名	

故人や先祖の名前を書いてください。
法要で奉読します。
(例) ・山田一郎家先祖代々
・鈴木太郎(氏名・俗名など)
・〇〇××信士(戒名など)
・田中先生(学校の先生など)

フリガナ		電話	TEL	()
氏名			携帯	()
住所	〒	E-mail		

盆棚経

お盆には故人の霊が家族の元に帰ってくると言われます。盆棚経は、先祖・故人の霊を自宅に迎えて供養する先祖供養の大切な行事です。櫻井大文住職、満目尚樹和尚、後藤英慈和尚が手分けして皆様の家の位牌の前で読経させていただきます。

7月盆の方には、棚経日時を記載した案内と盆幡をすでに郵送しました。

8月盆で訪問する皆様には、棚経予定日を記載した案内を大洞院便りと一緒に郵送します。今年の盆棚経は、おもに8月10日(月)～15日(土)を計画しています。本年8月12日は住職所用のため、満目和尚が担当します。

8月3～12日、16日以降は棚経計画に余裕があります。日程の変更を希望される方は連絡ください。

棚経案内が届いていない方、棚経を再開する方、新たに棚経を希望する方は寺務所まで早めにご連絡ください。大洞院檀家以外でも、ご希望があれば盆棚経に訪問させていただきます。皆様のご要望を受け調整した盆棚経の訪問日時は、8月1日頃から本堂西廊下に掲示します。大洞院寺務所でもお伝えします。ご確認ください。

なお、盆棚経を自宅で迎えられない方は、8月15日午後6時から本堂での盂蘭盆法要に参加してください。



櫻井大文住職



満目尚樹和尚

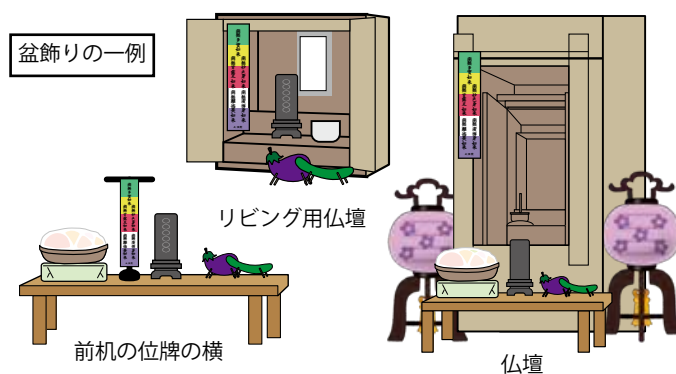


後藤英慈和尚

盆棚の飾り方

お盆の時期、仏壇の清掃と盆幡(ぼんばた)などの盆飾りを7日に行う風習があります。この風習が七夕(たなばた)となりました。皆様も7日頃に盆幡を仏壇や位牌の周囲に飾りましょう。

棚経にお伺いした時、僧侶は位牌に向かって供養の読経をさせていただきます。家族揃っての参拝をお願いします。



大洞院オリジナル盆供養幡

最近の仏壇、位牌の小型化に対応して、五如来名号を一枚にまとめた大洞院オリジナルの供養幡を用意しました。

7・8月に寺務所受付でお渡ししています。仏壇上部などに直接、または別途用意した紐で、吊り下げてください。



親子の地藏盆 ちびっこお楽しみ会



ミニ縁日・お菓子釣り

本堂でのお菓子釣り、じゅず玉作りや、紙コップタワー作り、缶バッジ作りなどで、地藏盆を楽しみましょう。

今年のステージは
マジシャン古川ゆうじさんの
わくわくマジックショー！



地藏盆とは

盆月下旬(お地藏さまの縁日の24日頃)に行われる子供の健やかな成長を願う行事です。地藏盆でお盆は終わります。関西方面で盛んな行事です。皆様の故郷で「地藏盆」を行っている所もあると思います。



フェルトシールで工作体験



住職と缶バッジ作り



どこまで積めるかな？
紙コップピラミッド

8月23日(日) 会場:大洞院 本堂
午後1時～3時 参加費:無料

参加のお子様に素敵なプレゼント！ ☎04-7132-5868
電話またはメールで人数を申込ください。 daitou@daitoin.net

盂蘭盆特集 一人で悩まず、まず相談

墓じまい・改葬・葬儀の相談

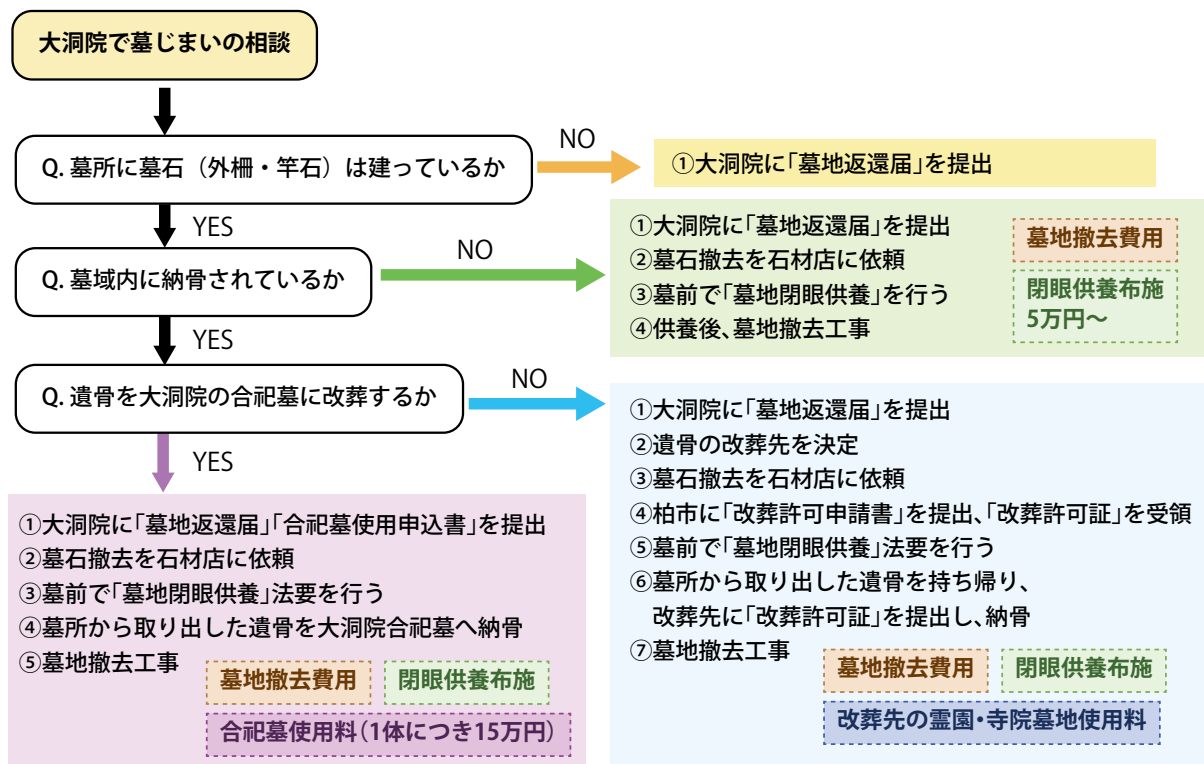
社会が大きく変化しています。大洞院には「後期高齢の単身者になり、もしもの時の葬儀と先祖代々の墓じまい、遺品の整理に悩んでいる」「子どもが遠方で生活していて、お墓は継いでもらえない。私のもしもの時は、墓じまいをお願いしたい」という終活に関する相談が寄せられています。大洞院は、皆様やご家族の話を伺いながら、それぞれの事情や希望に合わせて、多様な解決策の相談に応じています。

墓じまい・改葬の相談

墓石を撤去し、墓所を更地にして返還することが「墓じまい」です。墓石を撤去する前に住職などの読経で魂抜きをします。墓所に納められている遺骨を、別の墓地や納骨堂に移すことを「改葬」といいます。改葬には、柏市の発

行する改葬許可証が必要です。改葬では、墓前で住職などが読経して丁寧に供養してから遺骨を取り出して、移していただきます。

墓地の使用状況により行う手続きや費用が異なります。概略をフロー図に示します。まずは寺務所に相談ください。



大洞院から離壇料の請求はありません

墓じまい・改葬の相談例

墓じまいや改葬に至る事情は、それぞれ大きく異なります。

大洞院が受けた相談事例を紹介します。皆様の悩みや疑問の一助としてください。



大洞院境内のお墓を閉じて改葬したいのですが、お墓には明治時代の名前も刻まれていて正確な遺骨の数がわかりません。

大洞院の記録を遡っても納められた遺骨数が分からず、石材店の協力と相談者立会いの下、カロート（納骨室）を開けて骨壺の数を確認し、「改葬許可申請書」の作成を一緒に行いました。



家族のための墓所を求めて入檀したが、家族が別の宗教の教徒となり後継ぎがいなくなりました。どのようにしたら良いでしょうか。

墓地の使用状況を確認し、墓地を撤去する場合の具体的な費用や手続きを明確にすることで、墓じまいの手続きを家族に託す選択肢を作りました。



遠方から大洞院に納めたいが、スペースが不足している。

三十三回忌を過ぎて先代は、カロートの下に土に還りましたが、カロートに遺骨が残り、一部のみ土に還し、残りの遺骨も可能と提案しました。

現代の葬送の変化を考える

高齢者や、単身世帯が増え、葬送の個人化が進んでいます。多くの地縁・仕事の関係者が通夜に参列する一般葬と呼ばれる葬儀形態は急激に減少しています。

血縁者と知らせを受けた知人による家族葬が多くなっています。核家族・少子化で家族葬の参列者も20名以下が多く感じます。

柏市など都市部は火葬場の混雑で5～7日程度待たねば葬儀ができません。通夜が数日続くのと同じ状況になり、通夜を省いて一日で葬儀・告別式を行なう一日葬が見られるようになりました。

経済の停滞で葬儀費用を十分に準備できず、通夜や告別式をしないで遺体安置所から火葬場に向かう直葬も見られます。高齢単身者で頼れる親族もなく直葬となる人もいます。

大洞院は葬儀のあと僧侶が火葬場まで同行して火葬炉前で読経をしています。都合で直葬となる場合も檀家であれば、炉前読経で供養をさせていただきます。相談ください。

大洞院が繋ぐ専門家の輪

葬儀のあとの諸手続で苦勞をしている話を聞きます。大洞院は地域や、檀家の皆様との助け合いを大切にしています。供養・葬儀になどの困り事、悩み事など、電話・メール・FAX、面談などで相談に応じます。

大洞院は、税理士、司法書士、弁護士、社会保険労務士などの専門家の支援を受けながら運営しています。葬儀後の納骨、本位牌の準備と墓誌の文字彫刻、相続にともなう土地建物の登記変更、預貯金等の名義変更、相続税の申告、遺産分割など様々な問題に頭を悩ますことが多いと思います。

相談の内容と必要に応じて信頼のおける石材店、仏具店、司法書士、行政書士、税理士や弁護士を紹介することができます。高齢者、障害者については地域包括支援センター、社会福祉士など大洞院と縁があり信頼のおける専門家を紹介しています。

頼れる専門家・専門機関を知り、個人で抱え込まずに負担を軽減して、問題を解決しましょう。

葬儀の相談



「近所の格安葬儀社に依頼したが、当初の見積金額に多くのオプションが加算され、想像していた以上の費用がかかってしまった」「思ったような葬儀ができず不満が残った」といった声が、葬儀後に大洞院へ寄せられています。

突然の出来事の中で、事前検討ができず、インターネット情報などで葬儀社を選び、後になって不安や後悔を感じてしまう方も少なくありません。

大洞院では、葬儀に関する事前相談を受け付けています。近隣の葬儀会場や葬儀社の情報をもとに、参列人数や祭壇の内容、会場など希望を伺いながら、状況に合った葬儀社の紹介などを行っています。

葬儀を終えた後に「こうしておけばよかった」と思うことがないように、将来への不安を少しでも軽くするためにも、ひとりで抱え込まず、寺務所まで気軽に相談してください。



葬儀社の誇大広告にご注意ください

葬儀社は、顧客獲得のために、インターネットなどに直葬の費用を提示して安価に葬儀ができると錯覚させて集客する例が見られます。さらに過剰に安い金額を掲げて、オプション費用で追加する営業姿勢の会社も見られます。

出入りの葬儀社の情報では、直葬の場合、火葬料と3日以上の遺体保管料（1万円/日）別で25万円程度、生活保護法に基づく葬祭扶助の場合は20万円程度。

一日葬は、火葬料と3日以上の遺体保管料、食事代、返礼品など別で40～50万円。通夜・葬儀の家族葬の場合は、60～80万円が一般的と聞きました。

事前の葬儀社選びや、悩んだときは、大洞院寺務所で相談に応じます。



遠方の子供と同居したので、墓じまいをしたい。境内墓地に眠る故人は花野井で生まれ育った人達なので、これからも大洞院で供養してもらいたい。

大洞院の新しい墓地に遺骨を納骨する方が多すぎて、納骨室の足です。どうしよう。

先祖の仲間入りをした遺骨を納骨する方もあります。

続けるのが不安なら、遺骨の遺骨を合祀墓へ納骨する

。

先祖代々の遺骨を大洞院の合祀墓に改葬のうえ墓じまいしました。

合祀墓の墓誌に「〇〇△△家先祖代々之霊／令和〇年〇月〇日改葬により納骨」と文字彫刻をしました。改葬の後、先祖供養のため本人やご家族が幾度となく墓参されています。



遠方の墓参りが負担なので、大洞院に新たなお墓を用意したいので墓じまいの手続を教えてください。墓じまいの閉眼供養と遺骨の移動を手伝ってほしい。

墓所の管理事務所と相談の上、改葬に関する手続きと当日の立ち合いと閉眼供養に対応。遺骨を大洞院までお連れしました。

要望に合った施工のできる石材店を紹介し、墓所が完成するまで遺骨を本堂の納骨棚で預かりしました。

櫻井住職入山二十周年 大洞院の歴史展

大洞院ギャラリーでは櫻井住職の入山 20 周年を記念して「大洞院の歴史展」を開催しました。先代・木村住職が本堂や弁天堂の再建をし、寺コンを開催した頃から、櫻井住職の晋山式写真パネルなどを展示し、大洞院の歴史を写真で巡る展示にしました。

歴史展開催中の 5 月 29 日に開山より大洞院を守ってきた歴代住職を供養する歴住忌法要を執り行いました。

本堂での法要後、塔婆を歴住墓へ建て、参列者全員で手を合わせました。



櫻井住職入山二十周年 大洞院過去帳リニューアル

毎朝の朝課で月命日の方を供養する「日拝（にっぱい）」と、逝去された方の戒名を全て記帳した「過去帳」を新しく製本しました。



大洞院では、参拝の皆様にご朱印（書き置き）をお授けしています。寺務所にお声掛けください。



令和8年6月 月替り御朱印 500円

令和8年 毎月新作！
大野隆司
月替り御朱印
500 円

東葛地域を代表する版画家・大野隆司さん描き下ろしデザインの御朱印です。



夏季限定 切り絵御朱印

「朝顔と地藏尊」 500 円

朝顔の花と六地藏を描いた夏の切絵御朱印です。

オリジナルの御朱印授与袋に入れてお授けします。



収支計算書を掲示しました

令和 7 年度収支計算書等を寺務所玄関に掲示しました。

6 月 19 日に千葉県庁に出、23 日に受領されました。

檀家の方は、収支決算書等の詳細を確認できます。



寺務所 玄関



大洞院に隣接する農地を、檀家から一部借用し野菜・花の栽培をしています。

檀家や地域の方が参加しています。参加者が増えれば、更に拡大できます。一緒に栽培を楽しみませんか。

農具は大洞院にて貸出、井戸水は農地内にあります。トイレ、休憩所は寺務所にあります。



諸行事の協力者を募集

大洞院の盆行事、春・秋彼岸法要、寺コンなどの準備は、大洞院の利用者、近隣の住民、檀家などにボランティアとして応援いただいています。大洞院では「応援隊」と呼んで協力に感謝しています。

毎月第一水曜 10 時から行う「本堂清掃」では、本堂の普段の清掃で手の届かない範囲を清掃します。活動後は、参加者で昼食を共にし、親睦を深めています。

皆さまにご協力いただく「チラシのポスティング」は、大洞院の広報において大きな力となっています。配達する方、封筒にチラシを封入する方、どちらの作業も協力者を募集しています。

応援隊の活動内容は徐々に増えて、境内の植栽の手入れ、大洞院ギャラリーの展示・設営、チラシのポスティングなど、「無理せず」「できる範囲で」少しずつ協力いただいています。得意分野に合わせた協力者を募集しています。



檀家位牌清掃



大洞院便り発送準備

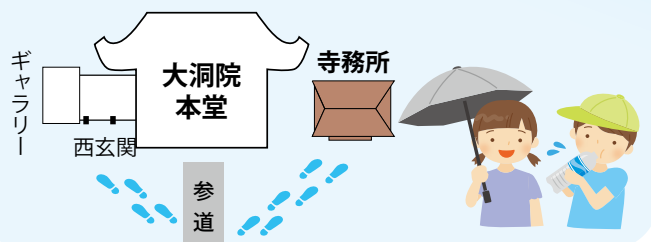
酷暑注意!

休憩所を冷房してます

今夏も暑い日が続くと言われています。大洞院では、本堂西玄関のロビーやギャラリー、寺務所玄関を冷房して、休憩所として利用いただいています。

墓参りや参拝の際などに休憩所として、自由に活用ください。熱中症にならないように涼みながら、ギャラリーの作品を鑑賞をする、書架の本を手にとる、飲物を口にするなど、ゆっくりと休憩ください。

本堂・寺務所のトイレも自由にご利用いただけます。




ボウフラの予防



夏が近づき、墓地で蚊が飛ぶ季節になりました。落し込み花立は、水にボウフラが発生しないように外して逆さにしてあります。仏花を立てる時は、お手数ですが元に戻してください。

固定式花立てには、ボウフラ対策として銅線を入れています。



ボウフラ対策用の銅線(約1.5cm)

認知症カフェ「花福」

主催：田中地区オレンジフレンズ
協力：柏北部地域包括支援センター、大洞院

認知症について知りたい方、認知症の方や家族、地域の方々、どなたでも参加できる「憩いの場」です。

認知症サポーターのたなか地区オレンジフレンズ、柏北部包括支援センター職員が個別相談にも応じます。認知症について知り、介護の悩みや経験談を共有するとともに、認知症の方が自ら楽しめるカフェにしていきたいです。

時間内の出入りは自由です。気軽にお越しください。

日時：7月14日(火) 午後1時30分～3時

8月18日(火) 午後1時30分～3時

9月8日(火) 午後1時30分～3時

参加費：100円(菓子・飲み物代) 場所：本堂 会議室

【活動内容】

レクリエーションゲーム・座談会・情報交換
包括支援センター職員による個別相談(ご希望の方)等

活動内容や概要については、柏北部包括地域センター
(☎ 04-7140-8818) までお問合せください。

大洞院ギャラリー展示予定

●渡邊眞利作品展 ―幻想と現実の狭間―

6月27日(土)～7月12日(日)

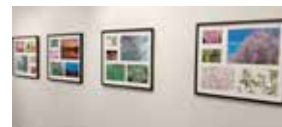
元国会会渡邊眞利さん作品から、幻想的な抽象画と中央アジアの風景画の2つの作品群を展示します。



●安蒜静雄写真展

7月16日(木)～8月16日(日)

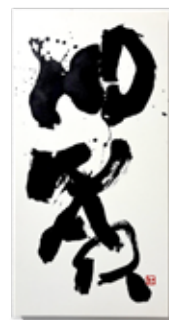
7月16日に一周忌を迎える柏の写真家・安蒜静雄さんの写真展です。



●書道作品展

8月21日(金)～9月中旬

書家の西村五葉さんが制作された作品(掛軸など)を寄贈いただきました。力強い筆遣いから産み出される鮮烈な作品の数々を是非ご覧ください。



「NO WAR」西村五葉

令和8年11月6日 於・アミューゼ柏 津軽三味線・五錦竜二演奏会



春の寺コンで津軽三味線を演奏した五錦竜二さんの演奏会を11月6日(金)アミューゼ柏で開催します。

三味線の響き、唄の情感、笙の雅な音色が織りなす特別な演奏会。和の伝統音楽が紡ぐ豊かな時間をお楽しみください。

大洞院寺務所でチケットを取扱っています。お求めください。

日時：11月6日(金) 13:30～

参加費：3,000円 会場：アミューゼ柏

柏に居住して5年。五錦竜二さんは柏の津軽三味線名人として、積極的な活動をしています。

大洞院の近隣にある「旧吉田家住宅歴史公園」で定期的な演奏会も開催しています。

「ケヤキ喜ぶ三味線の音」

日時：9月12日(土) 13:30～

参加費：3,500円 会場：旧吉田家住宅歴史公園

大洞院 夏休み親子ワークショップ

子供たちの夏休みを応援する、親子参加のワークショップです。檀家に限らず参加できます。気軽に問合せください。

お寺で和菓子をつくろう

参加者のお子様
に、和帽子をプレゼント!



お品書き
水あそび(寒天と練り切り)
花火(練り切り)

職人の指導のもと、季節を映した和菓子を作ります。日本の伝統文化に親しみながら、親子の思い出づくりを楽しみましょう。

令和8年 7月26日(日)13時30分～ 会場 大洞院 会議室

講師:坂巻 瞳(和菓子教室『新柳』) 定員:24名

参加費:700円 エプロン・三角巾・マスク 持参ください
(材料代)

4歳以上の子供を対象とした教室です。
6歳以下の子供は保護者と一緒に参加ください。
7歳以上は、一人も親子での参加もできます。



予約 大洞院寺務所

定員に達し次第申込締め切ります

たけとうろう 竹灯籠をつくろう



電動ドリルを使った竹灯籠をいっしょに作りましょう。
電動ドリルを安全に使いながら、こどもから年配の方まで簡単に楽しく作れます。

夏休みの工作を親子で楽しみながら完成させましょう。

竹灯籠は、盂蘭盆法要の千本灯明を彩る作品として制作者名と共に展示できます。そのままお持ち帰りいただくことも可能です。

電動ドリルを使用します。
保護者といっしょに参加ください。



令和8年 7月20日(月・祝) 14時～16時
会場 大洞院 境内 定員:10組 参加費:500円

予約 大洞院寺務所

定員に達し次第申込締め切ります

大洞院は、子育て世代や高齢者をサポートする福祉活動や、歴史研究や芸術創作などの文化活動を応援しています。

子育て世代

高齢者福祉

社会貢献

歴史研究

文化・芸術・創作

地蔵盆 夏休み親子
ワークショップ

認知症カフェ
「カフェ花福」

チャリティーバザー
「歳の市」開催
(売上を社会福祉協議会へ寄附)

寺ゼミ(不定期開催)
花野井歴史研究会

大洞院ギャラリー
柏の文化を育てる会の支援
五錦竜二演奏会の支援

子育てカフェ

介護施設入所者の
初詣支援

青葉会・はなみずきなどの
福祉法人への協力

曹洞宗 花井山 大洞院
〒277-0812 千葉県柏市花野井1757
TEL 04-7132-5868 FAX 04-7134-2131
URL <http://www.daitoin.net/>
Email daitou@daitoin.net